

いろいろせ

総合格闘技「空道」の東北大会(9月22日・仙台市)で上位成績を収めた大道塾「鈴木道場」三沢支部(鈴木克史支部長、おいらせ町青葉2丁目)の選手4人が、11月3日に東京で行われる全国大会に出場する。4人はそれぞれの目標に向け、日々の稽古に打ち込んでい

る。空道は突きや蹴り、寝技、絞め技といったさまざまな技が認められる実践的な格闘技。2026年青森国民スポーツ大会のデモンストラクションスポーツとなっている。

東北大会には体重や年齢ごとに総勢約180人がエントリー。U13男子42キ以下で蒔田疏久さん(堀口中1年)が優勝、U12男子37キ以下で三戸春馬さん(木

## いざ大舞台 目指せ頂点



全国大会に出場する(左から)誠士さん、古田さん、蒔田さん、三戸さん。右は鈴木支部長

## 空道・鈴木道場 4選手 来月全国出場

ノ下小6年)が3位入賞し、全国行きを決めた。U11男子42キ超の古田凜太郎さん(古間木小5年)は出場1人のため、予選を免除され全国へ。

一般無差別級の鈴木誠士さん(八戸学院大2年)は強豪選手に2回戦で敗れたものの、試合内容などから大道塾総本部(東京)の推薦を得て全国への挑戦権を得た。

蒔田さん、三戸さん、古田さんはそれぞれ優勝を目標に掲げる。誠士さんは「体格は小さい方だけど、その分スピードを生かして決勝トーナメントに残りたい」と話した。

鈴木道場は元々「五十嵐道場」だった。2022年に元指導者が亡くなったことを受け、今年4月1日から道場名を改めて活動している。(渡部雅士)